



AI・HALL DANCE COLLECTION VOL.23

キリアン／中村恩恵プロジェクト「BLACKBIRD」

アイホール

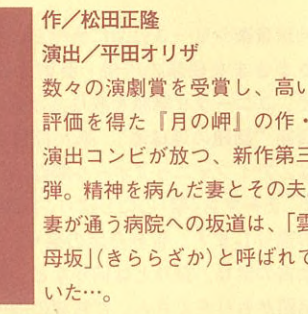


「月の罫」撮影：青木司

コンセプト・振付・舞台美術／イリ・キリアン 出演／中村恩恵、ケン・オソラ(ビデオでの出演)、他 現代バレエ・ダンス界最高峰の振付家とされるイリ・キリアンの新作です。彼が、オランダ在住・日本人ダンサー中村恩恵に振付け、世界のダンスシーンに放つ最新作は、中村恩恵とケン・オソラの2人が踊る映像

AI・HALL共催公演 青年団プロデュース Vol.10 『雲母坂』

アイホール



撮影：イリ・キリアン

を作品中に用い、アイホールの空間を活かしたソロダンス作品です。キリアンが21世紀にお贈りする、新たな挑戦にご期待下さい。

10月11日(木) 19:30 一般5000円 [全席指定席]

AI・HALL共催公演 青年団『冒険王』

アイホール

作・演出／平田オリザ 1980年初夏、イスタンブール、激動の世界史のただ中で、漫然と旅を続ける日本の若者たち。平田オリザが、16歳で自転車世界一周旅行を取行した際の体験に基づいた、自伝的作品、待望の再演です。 12月20日(木) 19:30



(初演時より)

AI・HALLグロウアップ事業

AI・HALL SHOW CASE

アイホール



前年度 SHOW CASEより

アイホールの演劇講座である演劇ファクトリーと、戯曲塾・伊丹想流私塾。この両講座の卒業生による試演会を実施します。今年は、5チームがエントリーしました。照明・音響・美術などではできるだけ簡略化した形で、上演時間20分程度のオリジナル作品を創作、短編オムニバスを一挙上演します。

12月8日(土) 19:00 9日(日) 14:00 一般1000円 (前売・当日共) [全席自由席]

小企画展 おしゃべりな版画たち 諷刺画と19世紀パリ

伊丹市立美術館

人の営みとともに古くから諷刺画(カリカチュア、戯画)は存在してきました。しかしそれが社会に対して「武器」とも「娯楽」ともなりうるような力をもたらしたものは18世紀のイギリスからであり、印刷技術の革新とともに19世紀中葉のフランスで最盛期を迎えました。ときは19世紀パリ、革命と動乱にあげられた世の中でジャーナリズムが誕生します。一方、技術革新がさまざまな分



オノレ・ドミニエ(写真術を芸術の高みにまで引き上げるナダール) 1862年

田尻洋一 トーク&ピアノ

いたみホール



田尻洋一 ピアノリサイタル 「運命」を弾く!

いたみホール

田尻洋一といたみホールがおくる人気シリーズ。あなたもクラシック音楽の世界を散歩してみよう! Vol.10 『ベートーヴェンの"英雄"は変ホ長調!』 なぜ、"英雄"交響曲はハ長調ではなく、フラット(b)が3つも付いているのでしょうか?...実はそれには理由があります。今回は、曲の性格と調性(＃とb)の秘密を解き明かします。 演奏するのは、ピアニスト&アレンジャーとして、また日本最高のジャズメンを中心に集めたウインドブレイカーズのリーダーとして多方面で活躍する前田憲男。世界各地のジャズフェスティバルでも高い評価を得るなどピアニストとしてはもちろん、最近ではプロデューサーとしても活躍を見せる佐藤彦彦。クラシック出身の本格派コンサートピアニストながら、テレビ、ラジオなどジャンルにこだわらない活動で知られる羽田健太郎。 10月7日(日) 14:00 Vol.10 10月7日(日) 14:00 Vol.11 12月7日(金) 19:00 1公演:1500円 ※就学前のお子様のご入場はご遠慮下さい。



オノレ・ドミニエ(写真術を芸術の高みにまで引き上げるナダール) 1862年

ができるでしょう。 また、諷刺画をよりおもしろく味わっていただけるよう、19世紀の社会を紐解く講座を3回シリーズで開催いたします(詳しくは下記参照)。諷刺画は社会の鏡であり、その時代の扉を開ける鍵となります。諷刺画のもつ情報=時代の声に耳を傾けて

PLAY! TRIPLE PIANO CONCERT

～プレイ!トリプルピアノコンサート～

いたみホール

スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハ。いたみホール所有の3台のフルコンサートピアノを、日本を代表するピアニスト3人が同時に演奏する、ビッグで豪華な夢の響宴! 演奏するのは、ピアニスト&アレンジャーとして、また日本最高のジャズメンを中心に集めたウインドブレイカーズのリーダーとして多方面で活躍する前田憲男。世界各地のジャズフェスティバルでも高い評価を得るなどピアニストとしてはもちろん、最近ではプロデューサーとしても活躍を見せる佐藤彦彦。クラシック出身の本格派コンサートピアニストながら、テレビ、ラジオなどジャンルにこだわらない活動で知られる羽田健太郎。

11月10日(土) 14:00 指定席3500円(4000円) 自由席 一般:3000円(3500円) 自由席 学生・60歳以上:1500円(2000円) ※就学前のお子様は親子室をご利用下さい(要予約)



佐藤彦彦氏「愛憎羅華の咲く木皿」

みませんか。きっと新鮮な驚きに出会えるはず。 10月6日(土)～11月18日(日) 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで) 月曜日休館 (10/8開館、10/9休館) 入館料:一般200円 中高150円 中小100円

関連企画

諷刺画講座vol.1 「19世紀フランス諷刺画をめぐって」(全3回) 第1回:10月14日(日) テーマ:フランス七月王政と週刊諷刺新聞「カリカチュール」について 講師:宮原信氏 (神奈川工科大学工学部教授)

それぞれまったく異なる個性を持ち合わせた3人が3台のピアノを同時に演奏するスタイルは世界的にもまれで、30本の指先からは、まるでオーケストラのように奥深いハーモニーが生み出されます。今回は、モーツァルト、チャイコフスキー等のクラシックを中心に、ジャズの名曲、ミュージカルのナンバーを多岐にわたり演奏します。なかでも、前田憲男アレンジによるメドレーは圧巻…。楽しいトークも交え、全ての観客を魅了することでしょう。

2002年1月27日(日) 15:00 S席5000円(5500円) A席4000円(4500円) [全席指定席] ※就学前のお子様のご入場はご遠慮下さい。



土屋章作「属性の調和」

Glass Craft Triennale 2001

工芸センター

今回、第1回目となる生活に潤いを与える「装飾品」「テーブルウェア」「オブジェ」を対象としたガラス作品の公募入選作品展です。想像力豊かな感性を持つ新進ガラスクラフト作家の作品や新世代のアーティスト性の高い作品など264組の出品があり、厳選な審査の結果、入賞8組21点、入選90組258点の作品が選ばれました。 主な受賞者として、佐竹ガラス大賞に土屋章さん(長野県在住・ガラス作家)の「属性の調和」、伊丹準大賞に橋本庸子さん(愛知県在住・ガラス作家)の「秘密主義」が選ばれました。 展示作品は、販売斡旋しています。 10月8日(祝)まで 休館日:月曜日

2001国際クラフト展 -伊丹-主題「ジュエリー」 ~21世紀のジュエリーシーンを伊丹から~

工芸センター

1997年に主題を初めてジュエリーとし、以後奇数年に伊丹市十伊丹市クラフト協会(今年から伊丹市十伊丹市文化振興財団十伊丹市クラフト協会)によるジュエリー公募展を、偶数年には、(社)日本ジュエリーデザイナー協会による伊丹発のジュエリー公募展を行っています。ジュエリーをテーマに、素材を問わず、アート性の高い作品を国内にとどまらず、広く海外にも求め、今回は、海外11カ国からの61人を含め、415人1577点の出品がありました。 厳選な審査の結果、入賞8組21点、入選90組258点の作品が選ばれました。



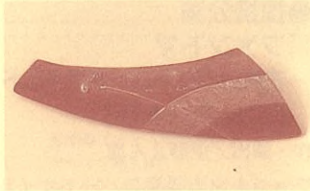
佐藤彦彦氏「愛憎羅華の咲く木皿」

主な受賞者として、大賞に佐藤彦弘さんの「愛憎羅華の咲く木皿」、伊丹賞に橋本庸子さんの「WHAT ON EARTH?」が選ばれました。 展示作品は、販売斡旋しています。 11月3日(祝)～12月2日(日) 休館日:月曜日

ドイツ・フォルツハイム美術工芸大学 OB・OG作品展 Vision—JAPAN— GERMANY

工芸センター

工芸センターの一大事業である『2001国際クラフト展-伊丹-「ジュエリー」』に先立ち開催するジュエリー作品展です。 フォルツハイムは、貴金属工芸と時計工業の長い伝統を持ち、18世紀以後、宝石金銀細工の技術で世界的な金銀製品の町として有名です。このような町に1877年、工芸、



休館日:月曜日

※文中の料金は、前売料金。()内は当日料金です。